

## 施策案に対する意見等の概要と意見等に対する市の考え方

番号	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
1	<p>高度経済成長以降、人口増と市民ニーズに合わせ公共施設及び道路等インフラ施設を整備し、今後大規模な改修や更新等が必要になる現状において、人口減少や少子高齢化に対応した公共施設の管理計画が大切と思われる。</p> <p>現在、新田に図書館、保健センターを中心とした複合施設が建設されるのがいい例で、これからそう考えざるを得ない部分もありますが、それによって将来行政センター、図書館、保健センターが集約し、統合されると、利用するのに遠くなり、ますます不便となり足が遠のきます。太田市は人口減もそんなに少なくなっているわけではないし、逆に人口を増やすぐらいの目標をもってやれば、進め方、管理の仕方も変わってくるのでは。</p> <p>将来太田市に火葬場(斎場)がないというのはちょっと気がかりです。迷惑施設でなく大切な公共施設であると思います。下水道整備はもっと早急に100%を目標にやるべきです。</p>	<p>本計画は、「多様化する市民ニーズへの対応と安定した財政運営を両立し、満足度の高い市民サービスを実現する」ことを理念とし、人口減少や少子高齢化による税収減、公共施設等の老朽化による改修更新費用の増加という課題に対し、市民サービスの質を低下させないよう、施設総量の縮減ありきではなく、あらゆる可能性を検討し、取組みを進めてまいります。</p> <p>ご指摘いただきましたとおり、公共施設の複合化や近隣市町村との広域連携は、施設運営の効率化や稼働率の向上による賑わいの創出、財政負担の軽減などの利点がある一方で、距離が遠くなることで、利用者の足が遠のくなどの課題も考えられます。移動手段に制限のある高齢者等に対しては、おうかがい市バス等の公共交通の改善を図るなど、利便性を損なわない施策の検討も進めてまいります。</p> <p>また、今後も市民利用に影響がある施設の統廃合等の施策につきましては、市民との情報共有に努め、同じ目線で検討を行うとともに、必要に応じて説明会やワークショップ、意見聴取を行うなど合意形成に努めてまいります。</p> <p>道路、橋梁、下水道等のインフラ施設につきましても、計画的な維持管理を実施し、安心・安全なサービスの提供に努めてまいります。</p>